



～令和7年度第2回コア会議が開催されました～

令和7年9月26日（金）に「公園マネジメント会議 令和7年度第2回コア会議」が地球市民交流センターにて開催され、6団体のコア会員の出席がありました。

前回コア会議のふりかえりの報告が行われ、来年度の取り組み項目の頭出しについて全体グループワークが行われました。

また、前回 Q&A 作成プロジェクトグループワークの議論において話題に出たものの中から、検討が必要な内容について全体グループワークにより活発な意見交換が行われました。



■ 前回コア会議のふりかえり

- 前回、第1回コア会議（令和7年8月18日開催／第89号かわらばん参照）のふりかえりで、コア会議の進め方やチーム制度の活用状況と今後の方向性の説明、それぞれが取り組みたいプロジェクトに分かれて行ったグループワークの実施結果について、事務局より説明がありました。

■ 全体グループワーク

- 前回、第1回コア会議で説明のあった「2025年度のパネルマネジメント会議の取り組み」を進めると同時に、来年度に取り組むべき項目の頭出しについても全体グループワークを行いました。

【2025年度のパネルマネジメント会議の取り組み】

- ① 会員アンケートの改良
- ② 会員へのメール送信時のアドレス作成
- ③ PJ1：マネジメント会議及びモリコロパーク内での活動に関するQ&Aの作成
- ④ PJ2：チャレンジスペースの活用1（ラボハウス周辺）
- ⑤ PJ3：チャレンジスペースの活用2（西口エントランス）
- ⑥ コア会議の見える化（一般会員の参加）



（全体グループワーク意見）

- 来年度に取り組むべき項目の頭出しも含めて、モリコロパークで活動している中で気になること、マネジメント会議で検討した方がいいことなど問題意識の共有ができるとよい。
- 日常的に活動をしておらず、あまり携わっていないので、特に気になることはない。
- 海外の方にもわかりやすい案内が欲しい。うちの店に限ってのことだが、海外の方に「うどん屋はどこですか？」といったことが定番として聞かれることが多い。日本に来ているので日本のものが食べたいと言われる。
 - 外国の方にとっては、せっかく日本に来たら日本食を食べたいと思うのはよくあること。観光客目線で見たと時にこういう情報が必要である。
- イベント開催時にはゴミ問題が目立つが、運営上どのような配慮が必要か。
 - インターナショナルスクール育ちのハーフの方と対談する機会があり、ゴミは捨てておけば誰かが片づけてくれるという環境があり、日本の学校のように掃除の時間にみんなで掃除をする習慣がない。掃除は掃除として雇われている方のお仕事という捉え方である。よく海外で日本人の観覧席にはゴミが落ちていないことに感動されるのは、もともとそういう教育を受けなくて育ったからである。そもそも啓発の看板を立てないと、マナー違反であることがわからないと思う。誰かが片づけてくれる、雇われているという感覚の国の方も多い。

■ グループワーク

- 前回、第1回コア会議のQ&A作成プロジェクトチームのふりかえりで、Q&Aの議論において話題に出たものを挙げ、マネジメント会議において回答の検討が必要な内容についてグループワークを行いました。→ 全体で実施

【第1回コア会議：Q&A作成プロジェクトチームのふりかえり】

- | | |
|--|----------------------|
| Q1：M会議は、愛・地球博のテーマ「自然の叡智」に代表される自然環境の保全や発展に寄与する活動がメインではないのか？ | → 【A】 検討：M会議（会長提案） |
| Q2：M会議は集客を目指すのか？ | → 【A】 検討：M会議（GWにて検討） |
| Q3：ビジネス系団体の参加が増えるのは問題か？ | → 【A】 検討：M会議（GWにて検討） |
| Q4：M会議では、何をしたいのか？何をしたいいけないのか？ | → 【A】 検討：M会議（GWにて検討） |
| Q5：ジブリと共存はどう考えるのか？ | → 【A】 検討：事務局 |
| Q6：公園内への動物の持ち込みに関する制限があるのか？ | → 【A】 検討：事務局 |
| Q7：M会議を活用する為の仕組みについて | → 【A】 検討：事務局 |

（グループワーク意見）…主にチャレンジスペースのラボハウス周辺（サトラボ）について意見交換が行われた。

- サトラボでの収穫祭が11月8日に開催されるが、イベントの周知がコア会議にない。この状態で協働できるのか？
- チャレンジスペースとは何なのか？チャレンジスペースの意義が4つの柱や基本方針に対してどう関与しているのか？
 - チャレンジスペースはかなり前にできた。当時、市民交流センターへの集客が悪く、人が居る所で「活動をチャレンジ」する話になり、今のプール前などで展開していった。しかし、ジブリのオープンで状況が変わり、場所が限定されてやりづらくなってしまった経緯がある。
 - その中で今回、チャレンジスペースの候補に挙がったのが①西口エントランスの活用。一方でジブリとの共生のあり方を模索する（チャレンジする）、ジブリの世界観を崩さずうまく共生しながらマネジメント会議の活動を探るのが②ラボハウス周辺である。
- サトラボがやりたいこととマネジメント会議が企画していることが全く違うのは困るので、調整が必要である。ジブリとやりとりするには、こちらもサトラボと一体となっていないとやりにくい。
- サトラボの活動をするにあたって、「こういう活動がしたい」「環境系のイベントがしたい」「昔ながらの遊びがしたい」といった話の参考になると思い、会員リストを資料で添付させてもらった。
 - あいちサトラボ里山開拓団さんは会員ではあるが、会員リストには載っていない。サトラボさんに一度コア会議に出席してもらい、情報を共有する場を設けてはどうか。サトラボさんの活動や考えがわからないとやりにくい。
- サトラボの世界観に合うものをやれば自動的にジブリさんが期待している世界観ともずれないはずである。
- 収穫祭は想定以上にマネジメント会議の会員さんが関わりながらやっている。収穫祭ではない形、もちつきや昔遊びといったオプションのアイデアの可能性もある。
- チャレンジスペースを生かし伝えていくことはすごく大事だが、ハードルが高いと思う。マネジメントからではなく、単体の活動からやってみる。
- 今年立ち上げられた学舎さんの「プログラムを継承する会」は、清掃ボランティアや農業体験など、学校をターゲットにする話なので、ここに参加すると必然的にノウハウを生かすことができるかもしれない。
- まずは自分たちがサトラボさんの取り組みを体で感じてみて、そこでわいわいやっていること自体がジブリ客の目を引く要素になるといい。
- コア会議は議論する場であって、それを実践に移すのは分科会やチーム制度である。そうすると、コア会員だけでなく、全員に広く声かけができて、外の人も呼び込めるし、他の会員さんもできる。
- 今のコア会議の出席状況が続くというのも辛い。いろんな方の意見が聞けないし、企画協議の中で実践のプレッシャーを感じながら話し合わないといけないという環境は辛い。

■ 情報提供

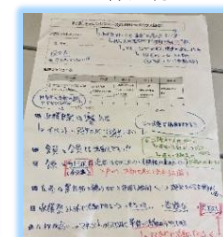
以下の情報提供がありました。

- 次回開催日程について（第3回コア会議）
2025年12月2日（火）14：30～

グループワークの様子



全体共有



お問い合わせ先



公園マネジメント会議 HP

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/koen/koenmng.html>

愛知県都市・交通局都市基盤部

公園緑地課（協働グループ）

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

TEL：052-954-6491 FAX：052-961-5022

公益財団法人愛知県都市整備協会

愛・地球博記念公園管理事務所

〒480-1342 長久手市荻ヶ廻間乙1533-1

TEL：0561-64-1130 FAX：0561-61-2150